

平成21年9月期 第3四半期決算短信

平成21年7月27日

上場会社名 マルサンアイ株式会社
 コード番号 2551
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理統括部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月3日

上場取引所名
 URL <http://www.marusanai.co.jp/>
 (氏名)青木春雄
 (氏名)伊藤明徳 TEL (0564)27 3700

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年9月期第3四半期の連結業績 (平成20年9月21日～平成21年6月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
21年9月期第3四半期	百万円 14,875	百万円 540	百万円 406	百万円 176
20年9月期第3四半期	13,386 2.0	110	35	775

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
21年9月期第3四半期	円 銭 15 44	円 銭
20年9月期第3四半期	67 99	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
21年9月期第3四半期	百万円 15,209	百万円 2,309	% 15.1	円 銭 202 14
20年9月期	14,932	2,156	14.4	188 83

(参考) 自己資本 21年9月期第3四半期 2,304百万円 20年9月期 2,152百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年9月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭 0 00
21年9月期					
21年9月期(予想)				5 00	5 00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成21年9月期の連結業績予想 (平成20年9月21日～平成21年9月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
通期	百万円 19,835 9.3	百万円 590 123.2	百万円 436 310.5	百万円 180	円 銭 15 80

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- | | |
|---------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う変更 | : 有 |
| 以外の変更 | : 有 |
- (注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|--------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 21年9月期第3四半期 | 11,480,880株 | 20年9月期 | 11,480,880株 |
| 期末自己株式数 | 21年9月期第3四半期 | 81,570株 | 20年9月期 | 79,650株 |
| 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 21年9月期第3四半期 | 11,400,849株 | 20年9月期第3四半期 | 11,401,872株 |

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

なお、上記に記載した業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライム問題に端を発した世界的な金融不安の影響により、企業収益及び個人消費が減少し、景気の低迷が続く厳しい状況となりました。

食品業界全般におきましては、消費者の「食の安全・安心」への意識が高まる中、各企業において、コンプライアンス（法令遵守）を取り組む動きが進んでおります。また、企業間競争の激化や少子高齢化により国内市場での拡大が困難であり、海外市場に進出する動きや企業再編に取り組む動きも見られます。

みそ業界におきましては、外食産業の不振や一般消費者の節約ムードにより低価格志向が一段と高まったため、みその出荷量が落ち込み、その回復に努める動きが進んでおります。

豆乳業界におきましては、健康飲料の多様化により、数年前より需要は減少傾向にありましたが、平成20年春以降豆乳市場は着実に回復基調をたどっております。

このような環境の中で、当社は消費者の皆様方に安全で安心できる製品の提供に努めるとともに、積極的な新製品の開発や、安全・衛生・品質管理の徹底を図り、事業の効率化やコスト削減に努め、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、豆乳の業績が順調に回復し、売上高は、148億75百万円（前年同期比11.1%増）、営業利益は、5億40百万円（前年同期比388.3%増）、経常利益は、4億6百万円（前年同期は35百万円の損失）、四半期純利益は、1億76百万円（前年同期は7億75百万円の損失）となりました。

(1)みそ事業

主に生みそ及び調理みそが好調に推移したため、売上高は、48億35百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益は、20百万円となりました。

生みそ

主力製品である純正こうじ、赤だし、ミックスが堅調に推移いたしました。また、下半期より発売した750gサイズのみその販促を強化いたしました。売上高は、36億42百万円（前年同期比4.2%増）となりました。

調理みそ

景気の後退とともに消費者の節約による内食傾向が進み、「キムチ鍋スープ」、「坦々ごまみそ鍋スープ」等のストレート鍋スープの需要が増加いたしました。売上高は、8億27百万円（前年同期比7.3%増）となりました。

即席みそ

特定企業向けの製品や国産素材の製品が好調だったものの、多食タイプの製品が苦戦し、売上高は、3億65百万円（前年同期比7.5%減）となりました。

(2)豆乳飲料事業

豆乳の売上が順調に推移しており、売上高は、92億35百万円（前年同期比16.0%増）、営業利益は、4億54百万円となりました。

なお、持分法適用関連会社のアメリカン・ソイ・プロダクツ INC.につきましては、持分法による投資利益9百万円を営業外収益に計上しております。

豆乳

平成20年5月より前年実績を上回り、その後も着実に売上を伸ばしております。売上高は、66億74百万円（前年同期比23.7%増）となりました。

飲料

清涼飲料とミネラルウォーターが苦戦し、売上高は、25億61百万円（前年同期比0.1%減）となりました。

(3)その他の事業

「寄せ鍋スープ」、「ちゃんこ鍋スープ」等のストレート鍋スープの需要が増加し、売上高は、8億4百万円（前年同期比5.3%増）、営業利益は、65百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

資産

流動資産は、72億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億21百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、現金及び預金の増加4億57百万円等によるものであります。

固定資産は、79億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億43百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、機械装置及び運搬具の減少92百万円等によるものであります。

この結果、資産合計は、152億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億77百万円増加いたしました。

負債

流動負債は、75億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億32百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、未払費用の増加3億22百万円等によるものであります。

固定負債は、53億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億7百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、長期借入金の減少1億92百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は、129億円となり、前連結会計年度末に比べ1億24百万円増加いたしました。

純資産

純資産は、23億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億52百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、利益剰余金の増加1億76百万円等によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は、前連結会計年度末に比べ5億6百万円増加し、15億87百万円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、11億70百万円となりました。これは、仕入債務の減少額2億25百万円、賞与引当金の減少額1億9百万円等の資金減少に対し、減価償却費4億76百万円、税金等調整前四半期純利益3億96百万円、未払金の増加額1億96百万円等の資金増加によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、2億78百万円となりました。これは、有形固定資産の取得による支出2億75百万円等の資金減少によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、3億76百万円となりました。これは、長期借入れによる収入19億円等による資金増加に対し、長期借入金の返済による支出23億24百万円等の資金減少によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成21年5月1日に公表した業績予想から修正はありません。

なお、予想数値は、現時点入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

また、今後修正の必要が生じた場合は、適時かつ適切に開示してまいります。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

四半期財務諸表に関する会計基準等の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

当連結会計年度の第1四半期連結会計期間から平成18年7月5日公表の「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 企業会計基準第9号)を適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。また、前連結会計年度まで営業外費用に計上しておりました「たな卸資産処分損」は、第1四半期連結会計期間より売上原価に含めております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の売上総利益及び営業利益が48,883千円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が23,983千円それぞれ減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

リース取引に関する会計基準等の適用

「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成5年6月17日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成6年1月18日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号)を第1四半期連結会計期間から早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更しております。

また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとして算定する方法によっております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。当該変更に伴う資産及び当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

有形固定資産の耐用年数の変更

当社及び連結子会社は、法人税法の改正を契機として、資産の利用状況等を見直した結果、第1四半期連結会計期間より、有形固定資産の一部(構築物、機械装置)について耐用年数を変更しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ4,527千円減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年6月20日)		前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年9月20日)	
資産の部				
流動資産				
現金及び預金	1,669,045		1,211,292	
受取手形及び売掛金	2 3,236,271		2 3,283,480	
商品及び製品	546,939		514,448	
仕掛品	518,107		560,937	
原材料及び貯蔵品	477,510		495,218	
その他	837,589		800,370	
貸倒引当金	2,126		3,552	
流動資産合計	7,283,336		6,862,195	
固定資産				
有形固定資産				
建物及び構築物(純額)	1 2,890,402		1 2,832,185	
機械装置及び運搬具(純額)	1 1,681,818		1 1,774,209	
土地	2,595,349		2,595,349	
その他(純額)	1 66,535		1 122,090	
有形固定資産合計	7,234,106		7,323,836	
無形固定資産	56,683		50,466	
投資その他の資産				
投資有価証券	511,502		529,787	
その他	127,416		168,776	
貸倒引当金	3,076		2,727	
投資その他の資産合計	635,842		695,836	
固定資産合計	7,926,632		8,070,139	
資産合計	15,209,969		14,932,335	

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間末
(平成21年6月20日)

前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成20年9月20日)

負債の部			
流動負債			
支払手形及び買掛金	2 2,068,933	2 2,294,840	
1年内返済予定の長期借入金	2,447,582	2,680,102	
未払法人税等	205,655	36,513	
賞与引当金	180,192	289,297	
未払金	1,668,495	1,550,024	
その他	2 972,025	2 460,015	
流動負債合計	7,542,883	7,310,792	
固定負債			
長期借入金	3,437,782	3,630,115	
退職給付引当金	1,505,551	1,468,222	
役員退職慰労引当金	174,073	164,745	
その他	240,058	201,637	
固定負債合計	5,357,465	5,464,720	
負債合計	12,900,349	12,775,512	
純資産の部			
株主資本			
資本金	865,444	865,444	
資本剰余金	657,881	657,881	
利益剰余金	880,597	704,583	
自己株式	47,134	46,591	
株主資本合計	2,356,788	2,181,317	
評価・換算差額等			
その他有価証券評価差額金	18,753	17,601	
為替換算調整勘定	33,740	10,873	
評価・換算差額等合計	52,493	28,474	
少数株主持分	5,325	3,979	
純資産合計	2,309,619	2,156,822	
負債純資産合計	15,209,969	14,932,335	

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年9月21日 至 平成21年6月20日)	
売上高	14,875,926
売上原価	10,805,584
売上総利益	4,070,341
販売費及び一般管理費	1 3,529,953
営業利益	540,388
営業外収益	
受取利息	2,703
技術指導料	38,504
賃貸収入	17,924
持分法による投資利益	9,320
その他	37,045
営業外収益合計	105,498
営業外費用	
支払利息	66,236
デリバティブ評価損	102,759
為替差損	39,936
その他	30,363
営業外費用合計	239,295
経常利益	406,591
特別利益	
固定資産売却益	630
貸倒引当金戻入額	1,425
特別利益合計	2,056
特別損失	
固定資産除却損	743
投資有価証券評価損	11,147
特別損失合計	11,891
税金等調整前四半期純利益	396,757
法人税等	219,397
少数株主利益	1,345
四半期純利益	176,014

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(自 平成21年3月21日
至 平成21年6月20日)

売上高	4,803,587
売上原価	3,499,837
売上総利益	1,303,750
販売費及び一般管理費	¹ 1,194,790
営業利益	108,959
営業外収益	
受取利息	931
技術指導料	10,043
賃貸収入	5,939
持分法による投資利益	5,173
デリバティブ評価益	7,238
その他	3,609
営業外収益合計	32,935
営業外費用	
支払利息	20,281
為替差損	3,255
その他	18,495
営業外費用合計	42,032
経常利益	99,862
特別損失	
固定資産除却損	230
投資有価証券評価損	14,918
特別損失合計	14,688
税金等調整前四半期純利益	114,551
法人税等	68,060
少数株主損失()	56
四半期純利益	46,547

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位:千円)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成20年9月21日
至 平成21年6月20日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	396,757
減価償却費	476,543
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,076
賞与引当金の増減額(は減少)	109,105
退職給付引当金の増減額(は減少)	37,329
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	9,328
受取利息及び受取配当金	4,272
投資有価証券売却損益(は益)	170
持分法による投資損益(は益)	9,320
支払利息	66,236
為替差損益(は益)	8,631
投資有価証券評価損益(は益)	11,147
デリバティブ評価損益(は益)	102,759
有形固定資産除却損	238
売上債権の増減額(は増加)	46,996
たな卸資産の増減額(は増加)	28,047
仕入債務の増減額(は減少)	225,906
未払金の増減額(は減少)	196,845
その他	246,076
小計	1,277,425
利息及び配当金の受取額	4,399
利息の支払額	68,956
法人税等の支払額	42,763
法人税等の還付額	7
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,170,112
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	275,530
投資有価証券の取得による支出	9,056
投資有価証券の売却による収入	1,324
その他	4,856
投資活動によるキャッシュ・フロー	278,405
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	1,900,000
長期借入金の返済による支出	2,324,853
その他の収入	195,000
その他の支出	146,793
財務活動によるキャッシュ・フロー	376,646
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,557
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	506,502
現金及び現金同等物の期首残高	1,081,292
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 1,587,795

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結会計期間(自 平成21年3月21日 至 平成21年6月20日)

	みそ事業 (千円)	豆乳飲料事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,417,238	3,264,770	121,578	4,803,587		4,803,587
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高						
計	1,417,238	3,264,770	121,578	4,803,587		4,803,587
営業利益(又は営業損失)	32,169	131,657	9,470	108,959		108,959

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年9月21日 至 平成21年6月20日)

	みそ事業 (千円)	豆乳飲料事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	4,835,180	9,235,956	804,789	14,875,926		14,875,926
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高						
計	4,835,180	9,235,956	804,789	14,875,926		14,875,926
営業利益	20,266	454,508	65,614	540,388		540,388

(注) 1 事業の区分は、製品の系列を考慮して区分しております。

2 各事業の主な製品

- (1) みそ事業.....みそ、即席みそ、調理みそ
- (2) 豆乳飲料事業.....豆乳、飲料、水
- (3) その他の事業.....その他食品、他社商品

3 会計基準に関する事項の変更

棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

当連結会計年度の第1四半期連結会計期間から平成18年7月5日公表の「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 企業会計基準第9号)を適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。また、前連結会計年度まで営業外費用に計上しておりました「たな卸資産処分損」は、第1四半期連結会計期間より売上原価に含めております。これにより当第3四半期連結累計期間の営業利益は、みそ事業が28,719千円、豆乳飲料事業が16,628千円、その他の事業が3,534千円減少しております。

4 当社及び連結子会社は、法人税法の改正を契機として、資産の利用状況等を見直した結果、第1四半期連結会計期間より、有形固定資産の一部(構築物、機械装置)について耐用年数を変更しております。これにより当第3四半期連結累計期間の営業利益は、みそ事業が5,412千円増加、豆乳飲料事業が9,943千円減少、その他の事業が3千円増加しております。

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結会計期間(自 平成21年3月21日 至 平成21年6月20日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年9月21日 至 平成21年6月20日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第3四半期連結会計期間(自 平成21年3月21日 至 平成21年6月20日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満であるため、その記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年9月21日 至 平成21年6月20日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満であるため、その記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

当第3四半期連結会計期間末 (平成21年6月20日)	前連結会計年度末 (平成20年9月20日)
1 有形固定資産の減価償却累計額 12,057,769千円 減価償却累計額には、減損損失累計額を含んでおりります。	1 有形固定資産の減価償却累計額 11,676,613千円 同左
2 四半期末日満期手形 四半期末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。 なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期末日満期手形が四半期末残高に含まれております。 受取手形 3,374千円 支払手形 24,178千円 設備支払手形 682千円	2 期末日満期手形 期末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。 なお、当期末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形が期末残高に含まれております。 受取手形 11,060千円 支払手形 32,386千円 設備支払手形 630千円

(四半期連結損益計算書関係)

第3四半期連結累計期間

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年9月21日 至 平成21年6月20日)
1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 は次のとおりであります。 紙手当 726,839千円 支払運賃 1,318,294千円 賞与引当金繰入額 83,230千円 退職給付費用 54,378千円 役員退職慰労引当金繰入額 22,018千円 貸倒引当金繰入額 390千円

第3四半期連結会計期間

当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年3月21日 至 平成21年6月20日)
1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 は次のとおりであります。 紙手当 246,785千円 支払運賃 415,907千円 賞与引当金繰入額 76,139千円 退職給付費用 18,125千円 役員退職慰労引当金繰入額 5,631千円 貸倒引当金繰入額 347千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年9月21日 至 平成21年6月20日)
1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年6月20日) 現金及び預金勘定 1,669,045千円 預入期間が3ヶ月を超える 81,250千円 定期預金 現金及び現金同等物 1,587,795千円

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約)四半期連結損益計算書

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年9月21日 至 平成20年6月20日)
	金額(千円)
売上高	13,386,486
売上原価	9,845,038
売上総利益	3,541,448
販売費及び一般管理費	3,430,790
営業利益	110,658
営業外収益	
1 受取利息	2,518
2 技術指導料収入	34,823
3 賃貸収入	17,207
4 持分法による投資利益	13,624
5 その他	13,607
営業外収益合計	81,781
営業外費用	
1 支払利息	82,933
2 たな卸資産処分損	17,508
3 デリバティブ評価損	79,755
4 為替差損	19,106
5 その他	28,924
営業外費用合計	228,228
経常損失	35,789
特別利益	
1 固定資産売却益	358
2 貸倒引当金戻入額	636
特別利益合計	994
特別損失	
1 固定資産除却損	516
2 投資有価証券評価損	2,403
特別損失合計	2,920
税金等調整前四半期純損失	37,714
法人税等	735,059
少数株主利益	2,477
四半期純損失	775,251

(2) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

		前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年9月21日 至 平成20年6月20日)
区分	金額(千円)	
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	37,714	
減価償却費	534,284	
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,383	
賞与引当金の増減額(は減少)	39,567	
退職給付引当金の増減額(は減少)	10,280	
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	7,076	
受取利息及び受取配当金	4,600	
持分法による投資損益(は益)	13,624	
支払利息	82,933	
為替差損益(は益)	8,695	
デリバティブ評価損益(は益)	79,755	
有形固定資産除却損	23	
売上債権の増減額(は増加)	144,677	
たな卸資産の増減額(は増加)	116,291	
仕入債務の増減額(は減少)	107,105	
未払金の増減額(は減少)	119,802	
その他	311,597	
小計	1,036,799	
利息及び配当金の受取額	4,651	
利息の支払額	81,796	
法人税等の支払額	2,832	
法人税等の還付額	17,230	
営業活動によるキャッシュ・フロー	974,051	
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	295,453	
投資有価証券の取得による支出	11,632	
投資有価証券の売却による収入	11,400	
その他	116,269	
投資活動によるキャッシュ・フロー	179,416	
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	2,700,000	
長期借入金の返済による支出	2,516,665	
社債償還による支出	401,200	
配当金の支払額	57,015	
その他の収入	195,000	
その他の支出	147,065	
財務活動によるキャッシュ・フロー	226,946	
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,695	
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	558,993	
現金及び現金同等物の期首残高	624,000	
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,182,993	